

政務調査研究視察 報告書

平成21年5月 日提出

視 察 日	平成21年4月28日 (火) PM1:30～
視 察 先	東京都 江東区
視 察 内 容	江東区地域経済活性化基本条例について
視 察 者	永田 寛 計 1 名
江 東 区	<p><江東区地域経済活性化基本条例について></p> <p>江東区は隅田川と荒川に囲まれ、東京湾に面した人口460,000の都市である。近年は、副都心・臨海副都心構想の影響もからみ、様々な都市問題をかかえながらも東京とともに発展している。</p> <p>今回、平成20年4月1日に施行された、「江東区地域経済活性化基本条例」について、岡崎の中心市街地活性化の参考とするため視察を行った。</p> <p>「江東区地域経済活性化基本条例」は江東区が区内中小企業の振興など活力ある地域社会の実現を目指して制定された。</p> <p>この条例の制定の経緯、及び制定後の取り組みについて、江東区地域振興部の長島経済課長から色々と話しを伺った。</p> <p>【経緯】</p> <p>本条例そのものではないが、以前から中小企業振興条例の制定を求める声が多かった中、平成19年の統一地方選挙で現山崎区長が当選した。</p> <p>区長は、平成19年第2回定例会の所管委員会で、次のような意思表示を行なった。</p> <p>「本区は新たな企業や店舗の立地、人口増加によって大きく変貌している中で、区民としての協働意識が希薄化している。この状況を踏まえ、区を含めた中小企業、商店会、区民などの責務や相互協力を明示し、協働の意識醸成と行動を促すことで、地域における活力再生と経済活性化に資することを目的とする条例制定を検討する。」</p> <p>この意思表示後、条例制定に係る関係者会議を経て、20年4月1日に条例施行に至る。</p> <p>【制定後の取り組み】</p> <p>平成20年6月から商店街未加盟店に対し、積極的な加入促進活動を行なった結果、区全域で48店舗が新規加入した。</p> <p>平成20年度は予算措置ができなかったが、今年度は次の事業を行なっている。</p> <p>① 6億6千万円規模のプレミアム商品券の発行。②商業まつりに対し補助金を実施。 ③「江東区民まつり」で区商連が発行するプレミアム付商品券に対する補助率アップ。 ④中小企業に対してPR経費を補助。</p> <p>【課題】</p> <p>江東区は従来から中小企業に対し様々な支援、振興策を講じており、本条例の存在を理由として無尽蔵に施策を膨らませていくことはできないため、今後の施策メニューによっては、本条例の趣旨が活かされていないとの指摘が出る可能性がある。</p>
	<p>【感想・岡崎市への反映】</p> <p>中小企業・商店会の活性化はどの自治体も抱える問題であるが、江東区は現在東京五輪誘致を活性化に活かすべく、区をあげて賛成している。</p> <p>プレミアム商品券の販売率が低いこともさることながら、岡崎市も地域主導型の行政ということで各種取り組みを行っているが、江東区のように出来るだけ地域住民が「自分たちでまちを興す」という意識を持っていただくような施策を展開していくことも重要であると思う。</p>

政務調査研究視察 報告書

平成21年5月 日提出

視 察 日	平成21年4月29日（水・祝）AM10：00～
視 察 先	東京都 世田谷区
視 察 内 容	世田谷区民会館について
視 察 者	永田 寛 計 1 名
世 田 谷 区	<p><世田谷区民会館について></p> <p>世田谷区は23区の最南端に位置し、良好の住環境から人口830,000人弱の23区最大人口の都市である。区内9館ある区民会館のうち、最も開設年月日の古い世田谷区民会館について、岡崎市の市民文化会館建て替えの参考とするため視察を行った。</p> <p>世田谷区民会館は昭和34年4月10日に開設された、ホール、定員1202名、舞台面積346㎡、集会室定員240名の歴史のある区民会館である。施設の老朽化がすすみ、同じ場所に建て替え計画もあるとのことだが、世田谷区民会館の概要について、当日は祝日であったため、株式会社世田谷サービス公社の二宮副主任から色々と話しを伺った。</p> <p>世田谷区民会館は、区内で最も古いと同時に定員数が最も高い施設であり、多くの利用がある。20年度の実績については、年間利用件数1,508件、年間平均利用率75.9%、施設利用売り上げ金額29,978,280円、利用人数222,621人である。駐車場は少ないが、区役所に隣接しており、公共交通機関の便が良いため、不便は感じられない。障がいのある方への設備も整っており、車いす用通路も設けられている。非常ベルも障がい者対策が行なわれている。これらは改修したものではなく、昭和34年建設当時の設備である。</p>
	<p>〔感想・岡崎市への反映〕</p> <p>財政状況の厳しい中、新しい施設の建設は容易ではないが、建設となれば十二分に精査する必要がある。</p> <p>昭和34年建築の世田谷区民会館に、障がい者用設備が完備されているのは、建設当初からの意識の高さがうかがえる。（岡崎市民会館は昭和42年建設）岡崎市も今後市民文化会館建設に向けて、詳細に至るまで、しっかり吟味していくことが必要不可欠であると思う。</p>

